

## 平成31年度 学校評価に関するアンケート結果について

日一日と春らしい季節に近づいている今日この頃、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日お願いいたしました「学校評価に関するアンケート」の児童及び保護者の集計結果をお知らせいたします。なお、学校ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。ご協力ありがとうございました。

学校では、児童・保護者からのアンケート調査結果をもとに、今年度の教育活動を振り返り、来年度のよりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも本校教育推進のため、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 評価結果より

## (児童アンケート)

- 児童のアンケート結果から次のように考えました。なお、「よくあてはまる」「まああてはまる」を肯定的な回答と考えています。
- 『6 わたしは、学校や家で、進んで本を読むことができている』以外はすべて「よくあてはまる」「まああてはまる」に85%以上の児童が答えている。読書については、金曜日の朝の「読書タイム」や「読み聞かせ」、火曜日・木曜日の清掃後の「つぼみっこタイム」での読書を行っている。しかし、強制して読書をさせることが読書好きになったり、家庭での読書の習慣化にはつながらないので、学校では今行っている取組を今後も地道に継続する。
  - 教員の指導に関わる『2 先生は、毎日の勉強を分かりやすく教えてくれる』は99%、『8 先生は、人の心や命の大切さを教えてくれている』から『12 先生は、自分たちが困ったときに話を聞いて助けてくれる』までの項目すべてに97%以上の児童が肯定的に答えている。今後も教員一人一人が教材研究を積極的に行うとともに、授業力の向上に向けて創意工夫をした充実した校内研修にする。
  - 昨年度との比較では、23項目中『3 わたしは、授業中、人の話をしっかり聞いています』『17 わたしは、生活のきまりを守って生活している』『20 家では、毎日、朝ご飯を食べている』『22 わたしは、学校や家で危なくないように気をつけて生活している』が1~4%程度下がっているが、他の項目はほぼ上がっている。規則正しい生活習慣や安全な生活について一人一人に応じた指導を行う。
  - 『1 わたしは、学校へ行くのが楽しい』は92%の児童が肯定的に答えた。この項目は特に100%を目指したいので、楽しい学級・学校づくりのために学級活動や「つぼみっこ班活動(異学年活動)」、さらに学校行事の充実を図る。
  - 学校目標「自分で考え、判断し、行動する児童の育成」に関わる『23 わたしは、自分で考えて行動できるようになってきている』は94%の児童が肯定的に答えた。本年度の教育の成果が現れてきていると考えるが、次年度も授業改善を進めるとともに特別活動の充実を図る。

## (保護者アンケート)

- 保護者の方のアンケート結果から次のように考えました。
- 『11 子どもは、学校や家で進んで読書することができる』は肯定的な回答が56%だった。昨年度と比較すると14%上がっているが、児童の肯定的な回答も68%と23項目の中で最も低かった。本校の課題として地道に取り組んでいく。
  - 学校目標に関わる『1 「自分で考え、判断し、行動する児童」に育ちつつある』は肯定的な回答が74%で、児童の94%と比べると20%の差がある。まだまだ主体性は育っていないと考える。
  - 『9 子どもは、授業中、自分の意見を発表することができる』は、肯定的な回答は76%である。保護者の方には限られた機会での判断する項目であるが、教職員の考察では発表する児童は増えてきたと判断している。
  - 上に述べた項目以外は肯定的な回答が80%以上である。今後も「自分で考え、判断し、行動する児童」の育成を目指すとともに、楽しい学校・学級創りに努力をしたい。そのために、上に述べたことを確実に実践したいと考えている。

教育は学校だけでできるものではありません。家庭と学校が連携を密にして、子どもたちの教育に当たっていくことで効果があるものと考えております。いただいた評価をもとに、少しでもより良き方向に向かって進んでいけるよう努力して参りたいと思っております。今後とも、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。